

令和4年度

かほく市総合教育会議  
議 事 録

令和5年1月18日



## 開 会

### 【折戸教育部長】

令和 4 年度かほく市総合教育会議を開催します。  
まず初めに、油野市長よりご挨拶をお願いいたします。

## 市長あいさつ

### 【油野市長】

皆さんこんにちは。昨年もいろいろお世話になりありがとうございました。今日は総合教育会議ということでご多用のなかご出席頂きましたこと改めて御礼申し上げます。また、教育委員の皆様には、子どもたちの健全な育成に大きなお力添えを頂いており、重ねて感謝申し上げます。

コロナウィルス感染拡大がなかなか収まらない状況である。現在第 8 波に入っているといわれている。感染者数も第 7 波と同じような数字といわれているが、実際にはもっと多いのではないかと思っている。医師の話では、以前は全数把握だったが、今は若い世代の方はなっても報告もしない事例もあるようで、実際の数字はもっと多いのではないかと言っていた。市の全数把握ができなくなってからは、全国の重症者数の推移を注視している。昨日は 690 人となっており、去年の 10 月 21 日に 106 人まで下がったが少しずつ増えてきている。一番少ない時の 6 倍になっている。それくらい重症化する方も増えている。また、最近亡くなる方も最多を更新している。そのうち 70 歳以上の高齢者が 9 割を占めており、基礎疾患によるものが多い。ただ、若い世代は殆ど重症化せず、ワクチンも打って頂けない。高齢者についても思った以上に打つ方は少ない。ただ、かほく市内の高齢者施設ではクラスターが発生している状況もあるので気を付けなければならない。

コロナウィルス感染拡大は、子どもたちの学校現場にも大きな影響を与えている。今の中学校 3 年生は、特に影響をうけてきた。小学校の卒業式がちょうど始まりの時期であり、石川県では 2020 年の 2 月 21 日に最初の感染者が確認され、全国的には 1 月 15 日が最初の確認、かほく市は 4 月 3 日でした。このような状況のなかで警戒が始まり、卒業式、入学式から様々な学校活動まで影響をうけてきたが、今年度の卒業式は、何とかコロナ前とはいかなくても通常に近い卒業式としてあげたいと思う。

現場の先生方も大変苦勞され、今年度は修学旅行が実施でき、運動会も開催された。色々な対策をして取り組んでおり、大変ありがたく思っている。市としても各種行事をしっかりと取り組んでいかなければならないと思っている。皆様のご理解・ご協力をお願いしたい。

今年度の学校関係の主な事業の進捗については、宇ノ気小学校のエレベーター設置が完了し、また高松中学校、大海小学校、宇ノ気小学校に一部残っていた和式便器の洋式化も完了して、全小中学校のトイレが洋式化された。さらに、ICT 教育については、昨年度の総合教育会議において GIGA スクール事業の現状と今後について協議させていただいた。ICT 教育推進拠点校として、高松地区の高松中学校、高松小学校、大海小学校が選ばれ、令和 3 年、4 年度の 2 カ年度に渡って取組を進め、今年度 11 月には研究発表がな

され大きな成果があったと聞いている。宇ノ気地区、七塚地区にも研究成果を共有し取り組みを進めていただいている。また、学校現場には、ICT 支援員を配置している。

さらに、教員業務支援員、部活動指導員も増員した。子どもたちの教育環境を充実し守ろうというのが私の思いである。また、毎年中学校で特別授業もさせて頂いている。特に今回、高松中学校では、まちづくりについての提案を頂いた。実現についてはなかなか難しく大変申し訳なかったが、その中で一部でも実現できるよう来年度の予算に反映できれば子どもたちの励みになるのかなと思っている。これまでも教育委員の皆様との意思の疎通を図り、意見を交わしまちづくりを進めてきた。これからも忌憚のない意見を頂き、しっかりと取組みたい。

今日は、部活動の地域移行について協議して頂く。国のほうでは、2023 年から 2025 年の 3 年間でしっかりやって欲しいとのことだが、地方自治体からは実現に向けて厳しい声もあがっている。当然進めるには財源も必要であり、学校教育の一環として教員が無償的に行ってきたものを、一般の方々に同じように行っていただくというわけにはいかない。国においても財源の確保は厳しいと考えるが、だからといって地方に全て任せて進めるようにと言われても難しいと言わざるを得ない。そういったことも含め、いくつもの課題があるので協議して頂きたい。

なお、国は、当初示した方針を改め、できるところから進めてほしいとややトーンダウンした物言いが変わった。偶然、ある新聞で現状の学校に係る問題を取り扱った記事を目にしたので持ってきた。参考に皆さんにも一読頂きたい。

今後ともよろしく願います。

### 【折戸教育部長】

市総合教育会議運営要綱第 3 条の規定に基づき会議の議長は教育長とする。  
議事進行は議長である山越教育長に願います。

## 議事録署名委員の指名

### 【山越議長（教育長）】

議事録の署名について市長、教育委員からは紘野委員に願います。

## 協議・調整事項 中学校部活動地域移行について

### 【山越議長】

協議・調整事項に入ります。本日の議題である中学校部活動地域移行について、資料に基づいて事務局よりこれまでの経緯、アンケート調査の結果、あるいはいろいろな現状について説明をお願いします。

### 【山川学校教育課長・山田スポーツ文化課長】

(資料により、中学校部活動地域移行について説明をなす。)

### 【山越議長】

現状の説明、事務局としての今後の進め方について説明があった。この問題は、かほく市学校教育の最大の課題であろうと思っている。後ほど市長の意見を伺うが、まず、教育委員から各自のご意見を伺う、保護者の立場でもある竹中委員どうか。

### 【竹中委員】

地域移行に関しては賛成。ただ、資料にもあるように費用の問題や人材確保が一番の問題となる。アンケートにも目を通したが、活動時間についての問題が多く見られた。地域移行と部活動の在り方をごっちゃにしてアンケートに回答している保護者が多いように感じた。完全に民間移行した場合はこうなるという形を示したうえでアンケートがあると答えやすいのでは。再度アンケートを取った方がよいと感じた。

民間移行することでいろいろな競技に参加できることはいいことだと思うが、アンケート結果しかみていないが、果たしてうまくいくのかは疑問が残る。2025 までのビジョンが見えない。卓球協会へのアンケートにも回答したし、高松中学校の卓球部の外部コーチもしている。

教員アンケート結果の「関りたくない」の割合の7，8割にはショックを受けた。

### 【山越議長】

実施したアンケート結果で、本音の意見が出ているのは教員の結果だろうと思う。ただ、保護者や子どもについては、地域移行についての説明不足の中での調査でありもう少し具体的な方針が出たあとに取り直す必要があるかもしれない。あと、国でも言われているが複数種目に取り組むことについてはどう考えるか。現状は、スポーツ少年団などでもそんなに多くはないと思うが。

### 【竹中委員】

自分の子どもたちには、小さい頃はスイミングをさせて身体づくりを大事にしていた。また、習字もさせた。私の一家は卓球一家である。小学生の間は複数種目に取り組むことはいいことかなと思うが、中学生になるとどっちつかずとなるよりは、一種目でチームとして上を目指すほうがいいのではと思う。

現在、携わる卓球部においても、これまで相撲をやっている子やスキーをやっている子がおり、やりたいスポーツがないことや、シーズンしかできないなどの理由で、子どもが意思をもって入っている。実際に相撲の子は相撲をやめて、卓球を選択した。シーズンが関係するスポーツであればシーズンでスポーツを変えてもいいのではと思うが、一種目とすることは、仲間意識やコミュニケーション、チームとして、社会に出ていくうえでいいのではと考える。

### 【山越議長】

国でも言われているこれまで同様大会ありきだとそうなるだろうし、保護者の中にも竹中委員の言われる思いが多いだろうと思う。諸井委員はどうか。

### 【諸井委員】

うちは、長男がサッカー、長女がバドミントン、一番下がトランポリンとそれぞれの子どもたちに親として大なり小なり費用を負担してきた。今の段階で見ると受け皿が違うことによって金額の違いが出ている。それを種目関係なく一律で保護者負担を同じにするのか、現在のように競技によって保護者負担がそれぞれかわってくるのか。また、部活動ではほとんど負担がなかったが、これまでの部活動負担以外の負担を求めることで、子どもも親もスポーツすることをあきらめるようなことがあってはならない。

今思うとトランポリンに活動費を払っていたが、そこでは指導者に支払うお金が多かったらと思うが、それをどのように保護者に負担してもらうのか、あとは、時間と場所の確保。普通に働いている人が部活動の時間に指導しようと考えるとなかなか人も限られる。そうすると19時から21時とかになる。今のスポーツ少年団の活動をみても

そう。小学校から続けてきたことと同じように中学生になってもそこに入ってやっていかなければならないのかなと考えると剣道のように各スポーツ少年団単位で指導していくとなると指導者が多くなり費用はもっとかかるのではという心配がある。

#### 【山越議長】

今のご意見は、部活動だけではなく民間での活動を同じテーブルにのせて考えていかないと中学校での部活動だけを考えるとアンバランスが出てくる、同じテーブルにのせて考えるべきだろうと思う。長柄委員はどうか。

#### 【長柄委員】

皆さんと同じ意見である。小学校の保護者も、中学校の保護者も半分以上が部活動の地域移行に賛成している。賛成意見もあれば反対意見もあり、全てを聞きながら実施することは難しいかもしれないが、私とすれば保護者の意見をよく聞きながら考えていくべきと思う。この大きな事業が走り出したところなので、いろいろな意見を聞きながら念査しながら徐々に納得してもらおう形で進めて行って頂ければとこの資料をみて思った。

#### 【山越議長】

教育委員会が主体となりやっていく必要がある、市側のバックアップも必要ではある。鮎野委員はどうか。

#### 【鮎野委員】

かほく市として休日だけでなく平日とも地域移行する方針は賛成する。現状は、混乱しているので保護者、子ども、学校、地域含めて早めに学校教育の一環から部活動が外れることを周知していただくことが非常に大事と感じる。学校の勉強においてもそうだが、地域で子どもを育てるという考え方が教育の中にはあるが、いよいよスポーツにおいても地域が子どもを育てるという考え方となっていく時代かと感じた。

子どもたちのアンケート結果で一番多かったのが「うまくなりたい」という意見だった。地域移行になった場合、より専門的に技術を学べることは非常に恩恵がある。指導する側も多世代の方が参加することで小さなコミュニティでの交流につながる。一方で、人間関係で悩む子どもたちが出てくる懸念もある。費用の概算については、現在の部活動の種目のみで25,000千円となっているが、種目が増えれば費用も増える。心配なのは人材の確保だろう。あとは、先生側からみて、自分もアンケート結果はショックだったが、こういう現状であるならば、いち早く学校教育から部活動を切り離してあげたほうがいいのかと思う。総合体育館の建設は時期的にいろんな可能性があって地域の活性化につながるいい機会だと感じる。

#### 【山越議長】

教育委員の意見は一通り聞けた。市長さんはどのようなお考えか。

#### 【油野市長】

委員の方々が言われたとおりであり、冒頭に教育長が申したとおり大変な変換期であり、これまでと全く違う状況になる。これから現実となっていくことであり、これまでのように教員がボランティアでやっていた部分は、働き方改革もあり、これまでどおりはあり得ない。鮎野委員が言われたとおり一日でも早く解放してあげるべきではないかとの意見もあるが、そんな簡単に全て地域移行しますという訳にはいかず、課題一つ一つやればやるほど大きな問題がある。

最終的にはどのような金額でやれるのか。国においてもこれだけ大きなことをやるのに予算も伴わないで各自治体でやれと言われてもできるはずがない。行政では何かやる

にしても費用の問題がついて回る。そのような状況のなかで当然、将来につけを回してやるわけにもいかない。幸いに今のところ、かほく市は、近隣市町がやれることはやれるという思いである。

ただ、かほく市が先走ってやれるかどうかは課題が多すぎて、本当に大きい問題であり詰めていけば詰めていくほど厳しい課題と考えている。複数種目への取組は、先日の女子の都道府県対抗駅伝においても中学生で素晴らしい記録を出した子は、バスケットボールもやっているとのことであり、陸上は案外と何でもできる。バドミントンと卓球の両立は技術の習得の面からも難しいような気はするが、サッカーと陸上などは可能であろう。複数の部活動での活動は基本難しいと感じる。ただ、子どものころに一種目だけに限定してやっていると大きくなるとうまくいかないこともよくあることだ。それよりも体力をいっぱいつけて、いざというときに伸ばすことが部活動としては重要に思う。複数種目に取り組むことはよいことだと思う。

いずれにしてもやる場合には、財源が大事になってくる。きれいごとなら何でも言える。いかに協力して民間の方にやってもらうかが重要。さっきの説明ではないが、単価によって判断することもある。また、民間の方が指導するのであれば19時くらいからでないと指導できないということにもなるだろう。同じクラブでも指導者によっても違うかもしれない。

私も孫の送迎をできる時にはしている。各家庭が送迎できるのかということも考えないといけない。新聞の記事にもあるが、少子化による影響でチーム編成ができないという問題も出ている。好むも好まざるも部活動をするためには仕方がない部分もでてくる。

とにかく課題が多すぎて、また個人の思いも違う、大変な作業となる。先生の中にも部活動をやりたいという先生がいればこんなにありがたいことはない。課題が大きすぎてこれから教育委員会のなかで何度も協議していくこととなり、ここではまとめきれない。最終的にすべてを満足できないかもしれないが妥結できるところを相談させてほしい。

#### 【山越議長】

アンケート結果から、教員が来年4月から誰も部活の顧問をしないというわけではない。ただ、どこまでかはわからないが、部活の顧問をしたくないという教員が増える傾向が強くなっているのは間違いないと思います。

事務局には、資料15ページにある関係団体との協議を早く進めて欲しい。

折角の会議であり、本会議においては、資料17ページの対応方針の①、②について参加の皆さんで確認が出来ればと思っている。今後の大きな方向性を示すうえで非常に重要な部分となる。先ほど諸井委員からも提案があったが、今の部活動だけをテーブルに乗せて議論するのではなく総合型地域スポーツクラブや民間のスポーツクラブへ行っている子どもたちを含めた議論を進めていくということ。もう一点、国で言われている複数種目、他分野種目への取組や、アスリートを目指す子、親しむスポーツを選択する時期が中学生の時といわれており、竹中委員も言われていたがこのようなことも子どもたちに選択肢として与えることができる。対応方針の①、②について確認を取りたいと思うが如何か。

#### 【油野市長】

良い悪いという方針ではないと思うが。

**【山越議長】**

例えば、現在の中学校3年生の大半は5月、6月に引退するが、生涯スポーツという観点でのこの方針が重要となる。私としては、中学生が引退したあと卒業までスポーツができない現行制度はよくないと考えている。

**【山越議長】**

中学校部活動の移行だけで考えるのであれば議論はしやすいと思う。生涯スポーツという位置づけの中でどう捉えていくかとなると話は難しくなる。

**【油野市長】**

やりたい子は継続すればいいし、5月、6月で引退するのも選択の一つだと思う。選択肢はたくさんあった方が良く。対応方針の①、②については機会を確保するという意味では方針としてはあってもいいと思う。

**【山越議長】**

この問題は非常に大きな問題であり、本日の会議をもって決定するものでもない。いろんな機会に協議していくこととしたい。今後は、保護者のなかでの噂話程度であるこの活動について、事務局として、関係者をまきこんだ情報発信を早急に進めて欲しい。

それでは、その他について、折角の機会なので何かないか。

**【一同】**

特になし。

**【山越議長】**

会議終了時間となりましたので議事進行を事務局にお返しする。

**閉 会**

**【折戸教育部長】**

以上で、令和4年度かほく市総合教育会議を閉会します。

お疲れ様でした。

午後2時40分閉会

議長（教育長）                      山 越                      充

署名（市 長）                      油 野                      和一郎

署名（教育委員）                      粕 野                      武 利